

対象校No.320
注4

学校コード F109310101598
注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の設置
注1

届出

注2
国際医療福祉大学 成田薬学部 薬学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人国際医療福祉大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	教務課
職名・氏名	ショジ コミネナ ホコ 主事・小峰菜穂子
電話番号	0476-20-7703 (内線: 8030)
(夜間)	0476-20-7701 (内線: 8030)
e-mail	narita_kyomu@iuhw.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「〇〇大学」
・学部の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

成田薬学部

＜薬学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 国際医療福祉大学

(2) 大 学 名

国際医療福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒286-8686

千葉県成田市公津の杜4-3 (〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学 長	(スズキ ヤスヒロ) 鈴木 康裕 (令和4年4月)		
学 部 長	(ヨネモチ エツオ) 米持 悦生 (令和6年4月)		
学科長等	(ヨネモチ エツオ) 米持 悦生 (令和6年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
成田薬学部 薬学科 学士(薬学)	薬学関係	6 年	120 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	720 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 () [-]	人 120 () [若干名]					
志願者数	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	1036 () [5]					
受験者数	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	1012 () [4]					
合格者数	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	357 () [1]					
B 入学者数	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	() [-]	121 () [1]					
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		-		1.00					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況 AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	121 [1] (—)	— [—] (—)	
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
5 年次									— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
6 年次											— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	121 [1] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	121 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の数値を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の数値については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{121} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜成田薬学部 薬学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合 教育 科目	文学論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	演劇論	1・2・3・4・5・6期		1							1
	心理学	1前	2								1
	哲学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	コミュニケーション概論	1前	2								1
	雑談と傾聴-話す力と聴く力-	1・2・3・4・5・6期		2							1
	人間学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	歴史学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	倫理学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	宗教学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	日本近現代史	1・2・3・4・5・6期		2							1
	文化人類学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	教育学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	教育方法論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	死生学-死を通して生を考える-	1・2・3・4・5・6期		2							1
	法学	1前	2			1					1
	法と道徳・倫理	1・2・3・4・5・6期		2							1
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	4前	1								1
	経済の仕組み	1・2・3・4・5・6期		2							1
	経済の歴史	1・2・3・4・5・6期		2							1
	世界の経済	1・2・3・4・5・6期		2							1
	アジア諸国の経済・社会・文化	1・2・3・4・5・6期		2							1
	世界の中の和文化	1・2・3・4・5・6期		1							1
	経営の仕組み	1・2・3・4・5・6期		2							1
	組織運営管理論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	社会学 (人間と社会)	1・2・3・4・5・6期		2							1
	マスメディア論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	新聞でみた日本と世界	1・2・3・4・5・6期		2							1
	国際関係論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	国際医療福祉論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	海外保健福祉事情I (講義)	2前	1								1
	海外保健福祉事情II (実習)	2後	1								1
	ボランティア論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	ボランティアコーディネート論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	手話入門	1・2・3・4・5・6期		2							1
	防災と生活デザイン	1・2・3・4・5・6期		2							1
	疫学・保健医療統計学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	数学	1前	2								1
	物理学	1前	2								1
	化学	1前	2					1			1
	生物学	1前	2			1					1
	データリテラシー	1前	1								1
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2・3・4・5・6期		1		1					1
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2・3・4・5・6期		1		1					1
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1後	1								1
	医学/医療史	1・2・3・4・5・6期		2							1
	人間工学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1前	1								1
	郷土論	1・2・3・4・5・6期		1							1
	医療福祉教養講義	1・2・3・4・5・6期		1							1
	メディカルマナー入門	1・2・3・4・5・6期		2							1
	食と人間	1・2・3・4・5・6期		1							1
	英語講読 1 (Primary)	1後	1			1					1
	英語講読 2 (Basic)	2前	1			1					1
	英語C A L L 1 (Primary)	1前	1			1					2
	英語C A L L 2 (Basic)	2後	1			1					1
	英語講読 3 (Intermediate)	2・3・4・5・6期		1							1
	英語講読 4 (Advanced)	2・3・4・5・6期		1							1
	英語会話 1 (Primary)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	英語会話 2 (Basic)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	英語会話 3 (Intermediate)	2・3・4・5・6期		1							1
	英語会話 4 (Advanced)	2・3・4・5・6期		1							1
	英語ライティング 1 (Primary)	1・2・3・4・5・6期		1		1					1
	英語ライティング 2 (Basic)	1・2・3・4・5・6期		1		1					1
	国際医療通訳入門	1・2・3・4・5・6期		1							1
	資格英語 1 (Primary)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	資格英語 2 (Basic)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	基礎英文法 1 (Primary)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	基礎英文法 2 (Basic)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	上級英語文献講読	1・2・3・4・5・6期		1							1
	上級英語会話 1 (発展)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	上級英語会話 2 (総合)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	ドイツ語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	ドイツ語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	中国語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	中国語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	韓国語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	韓国語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	フランス語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	フランス語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	スペイン語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	スペイン語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	タイ語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1
	タイ語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合 教育 科目	文学論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	演劇論	1・2・3・4・5・6期		1							1
	心理学	1前	2								1
	哲学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	コミュニケーション概論	1前	2								1
	雑談と傾聴-話す力と聴く力-	1・2・3・4・5・6期		2							1
	人間学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	歴史学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	倫理学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	宗教学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	日本近現代史	1・2・3・4・5・6期		2							1
	文化人類学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	教育学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	教育方法論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	死生学-死を通して生を考える-	1・2・3・4・5・6期		2							1
	法学	1前	2				1				1
	法と道徳・倫理	1・2・3・4・5・6期		2			1				1
	我が国の社会福祉・医療保障政策の知識	4前	1								1
	経済の仕組み	1・2・3・4・5・6期		2							1
	経済の歴史	1・2・3・4・5・6期		2							1
	世界の経済	1・2・3・4・5・6期		2							1
	アジア諸国の経済・社会・文化	1・2・3・4・5・6期		2							1
	世界の中の和文化	1・2・3・4・5・6期		1							1
	経営の仕組み (未開講)	1・2・3・4・5・6期		2							1
	組織運営管理論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	社会学 (人間と社会)	1・2・3・4・5・6期		2							1
	マスメディア論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	新聞でみた日本と世界	1・2・3・4・5・6期		2							1
	国際関係論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	国際医療福祉論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	海外保健福祉事情I (講義)	2前	1								1
	海外保健福祉事情II (実習)	2後	1								1
	ボランティア論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	ボランティアコーディネート論	1・2・3・4・5・6期		2							1
	手話入門	1・2・3・4・5・6期		2							1
	防災と生活デザイン	1・2・3・4・5・6期		2							1
	疫学・保健医療統計学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	数学	1前	2								1
	物理学	1前	2				1				1
	化学	1前	2				1				1
	生物学	1前	2				1				1
	データリテラシー	1前	1						1		1
	医療データサイエンス I (DS基礎)	2・3・4・5・6期		1				1			1
	医療データサイエンス II (AI基礎)	2・3・4・5・6期		1				1			1
	医療必修-医療の倫理とプロ意識・医療情報-	1後	1								1
	医学/医療史	1・2・3・4・5・6期		2							1
	人間工学	1・2・3・4・5・6期		2							1
	大学入門講座-医療人・社会人として成長するために-	1前	1								1
	郷土論	1・2・3・4・5・6期		1							1
	医療福祉教養講義	1・2・3・4・5・6期		1							1
メディカルマナー入門	1・2・3・4・5・6期		2							1	
食と人間 (未開講)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
英語講読 1 (Primary)	1後	1					1			1	
英語講読 2 (Basic)	2前	1					1			1	
英語C A L L 1 (Primary)	1前	1					1			2	
英語C A L L 2 (Basic)	2後	1					1			1	
英語講読 3 (Intermediate)	2・3・4・5・6期		1							1	
英語講読 4 (Advanced)	2・3・4・5・6期		1							1	
英語会話 1 (Primary)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
英語会話 2 (Basic)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
英語会話 3 (Intermediate)	2・3・4・5・6期		1							1	
英語会話 4 (Advanced)	2・3・4・5・6期		1							1	
英語ライティング 1 (Primary)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
英語ライティング 2 (Basic)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
国際医療通訳入門	1・2・3・4・5・6期		1							1	
資格英語 1 (Primary)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
資格英語 2 (Basic)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
基礎英文法 1 (Primary)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
基礎英文法 2 (Basic)	1・2・3・4・5・6期		1				1			1	
上級英語文獻講読	1・2・3・4・5・6期		1							1	
上級英語会話 1 (発展)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
上級英語会話 2 (総合)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
ドイツ語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
ドイツ語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
中国語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
中国語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
韓国語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
韓国語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
フランス語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
フランス語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
スペイン語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
スペイン語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
タイ語入門 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	
タイ語基礎 (会話含む)	1・2・3・4・5・6期		1							1	

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
			修	択	由	授	授	師	数	手		
総合 教育 科目	ベトナム語入門（会話含む）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	ベトナム語基礎（会話含む）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	ビルマ語入門（会話含む）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	ビルマ語基礎（会話含む）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅰ-A（文法・表現）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅰ-B（記述）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅰ-C（読解）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅰ-D（会話）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅱ-A（文法・表現）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅱ-B（記述）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅱ-C（読解）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅱ-D（会話）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅲ-A（文法・表現）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅲ-B（記述）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅲ-C（読解）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	日本語Ⅲ-D（会話）	1・2・3・4・5・6期		1								1
	医療福祉専門漢字	1・2・3・4・5・6期		1								1
	医療福祉専門語彙	1・2・3・4・5・6期		1								1
専 門 基 礎 科 目	健康科学理論	1・2・3・4・5・6期		1								1
	健康科学実践	1・2・3・4・5・6期		1								1
	小計（104科目）	—	22	121	0	2	2	1	0	0	41	
	救急医学	1・2・3・4・5・6期		1								1
	感染と免疫	1・2・3・4・5・6期		2								1
	リハビリテーション概論	1・2・3・4・5・6期		2								1
	関連職種連携論	2後	2									1
	ケアマネジメント論	1・2・3・4・5・6期		1								1
	ケースワーク論	1・2・3・4・5・6期		1								1
	医療管理学	1・2・3・4・5・6期		2								1
	保健医療福祉制度論	1・2・3・4・5・6期		2								1
	社会福祉学	1・2・3・4・5・6期		2								1
	臨床心理学概論	1後	2									1
	医療情報学概論	1・2・3・4・5・6期		2								1
	福祉支援工学概論	1・2・3・4・5・6期		2								1
	関連職種連携ワーク	3前	1		1							1
	関連職種連携実習	5前		1								1
専 門 基 礎 科 目	リスクマネジメント論	2・3・4・5・6期		2								1
	電子カルテシステム入門	2後		1								1
	エビデンスベースドプラクティス（研究と文獻）	1・2・3・4・5・6期		1		1						1
	レクリエーション概論	1・2・3・4・5・6期		1								1
	医療関連法規Ⅰ（医薬品全般に関わる法律）	3前	1			1						1
	医療関連法規Ⅱ（医薬品開発と薬害に関する法律の理解）	4前	1			1						1
	災害保健学	1・2・3・4・5・6期		1								1
	予防保健学	1・2・3・4・5・6期		1								1
	国際医療保健学	1・2・3・4・5・6期		1								1
	異文化体験実習	1・2・3・4・5・6期		1								1
	公衆衛生学Ⅰ（保健統計、疫学、制度）	2後	2			1						1
	公衆衛生学Ⅱ（感染症と予防）	3後	1			1						1
	薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）	2後		1								1
	薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）	3前		1								1
	薬学演習Ⅲ（医療倫理・ヒューマニズム）	3後	1									1
	病原微生物学	2後	2			1						1
専 門 基 礎 科 目	コミュニケーション実習	2前		1			1		2			1
	基礎薬学実習	1後		1		1		1	2			1
	小計（32科目）	—	17	27	0	7	1	1	3	0	16	
	薬学概論	1前	2			1						1
	医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6前	1			1						1
	医療データサイエンス概論	4後	1				1					1
	医療データサイエンス演習	6前	1					1				1
	早期体験実習	1後	1			1		1	3			1
	分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	1後	2			1						1
	分析化学Ⅱ（機器分析）	2前	2			1						1
	分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）	3前	2					1				1
	薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1後	2			1						1
	薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2前	2			1						1
	放射化学	2前	2			1						1
	日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3後	1			1						1
	日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6前	1			1						1
専 門 基 礎 科 目	物理系薬学実習	2後	1			2		2				1
	有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1後	2			1						1
	有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2前	2			1						1
	有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2後	2			1						1
	生薬学	2前	2			1						1
	天然物化学	2後	1			1						1
	生物有機化学	3前	1			1						1
	医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）	4前	1			1						1
	医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）	6前	1			1						1
	医薬品構造解析演習	2後	1			1		1				1
	化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2前	1			1		2				1
	化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2後	1			1	1	2				1
	有機化学演習	1後		1		1		2				1
	免疫学	3前	2			1						1
	生化学Ⅰ（生体分子）	1後	2			1						1
	生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2前	2			1						1
	分子生物学	2前	2			1						1
専 門 基 礎 科 目	細胞生物学	2後	1			1						1
	解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系）	1後	2			1						1
	解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）	2前	2			1						1
	分子生物学実習	3前	1			1			3			1
	免疫微生物学実習	3後	1			1		3				1
	基礎統計学	1後		1			1					1
	疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系、循環器系疾患）	2前	2			2						1
	疾病と病態生理学Ⅱ（消化器系、呼吸器系、代謝性疾患）	2後	2			2						1
	薬理学Ⅰ（総論）	2前	1			1						1
	薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2後	2			1						1
	薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3前	2			1						1
	薬学概論	1前	2			1						1
	医薬品レギュラトリーサイエンス概論	6前	1			1						1
	医療データサイエンス概論	4後	1				1					1
	医療データサイエンス演習	6前	1					1				1
	早期体験実習	1後	1			1		1	2	2		1
	分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）	1後	2			1						1
	分析化学Ⅱ（機器分析）	2前	2			1						1
	分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）	3前	2					1				1
	薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）	1後	2			1						1
	薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）	2前	2			1						1
	放射化学	2前	2			1						1
	日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）	3後	1			1						1
	日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）	6前	1			1						1
	物理系薬学実習	2後	1			2		2				1
	有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）	1後	2			1						1
	有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）	2前	2			1						1
	有機化学Ⅲ（芳香族化合物）	2後	2			1						1
	生薬学	2前	2			1						1
	天然物化学	2後	1			1						1
	生物有機化学	3前	1			1						1
	医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）	4前	1			1						1
	医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）	6前	1			1						1
	医薬品構造解析演習	2後	1			1		1				1
	化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）	2前	1			1		2				1
	化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）	2後	1			1	1	2				1
	有機化学演習	1後		1		1		3				1
	免疫学	3前	2			1						1
	生化学Ⅰ（生体分子）	1後	2			1						1
	生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）	2前	2			1						1
	分子生物学	2前	2			1						1
	細胞生物学	2後	1			1						1
	解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系）	1後	2			1						1
	解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）	2前	2			1						1
	分子生物学実習	3前	1			1			2			1
	免疫微生物学実習	3後	1			1		2				1
	基礎統計学	1後		1			1					1
	疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系、循環器系疾患）	2前	2			2						1
	疾病と病態生理学Ⅱ（消化器系、呼吸器系、代謝性疾患）	2後	2			2						1
	薬理学Ⅰ（総論）	2前	1			1						1
	薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2後	2			1						1
	薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3前	2			1						1

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合 教育 科目	ベトナム語入門（会話含む）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	ベトナム語基礎（会話含む）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	ビルマ語入門（会話含む）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	ビルマ語基礎（会話含む）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅰ-A（文法・表現）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅰ-B（記述）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅰ-C（読解）（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅰ-D（会話）（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅱ-A（文法・表現）（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅱ-B（記述）（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅱ-C（読解）（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅱ-D（会話）（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅲ-A（文法・表現）（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅲ-B（記述）（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅲ-C（読解）（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	日本語Ⅲ-D（会話）（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	医療福祉専門漢字（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	医療福祉専門語彙（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	健康科学理論	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	健康科学実践	1・2・3・4・5・6期		1								1	
小計（104科目）	—		22	121	0	4	2	0	0	0	42		
専 門 基 礎 科 目	救急医学	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	感染と免疫	1・2・3・4・5・6期		2								1	
	リハビリテーション概論	1・2・3・4・5・6期		2								1	
	関連職種連携論	2後	2									1	
	ケアマネジメント論	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	ケースワーク論	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	医療管理学	1・2・3・4・5・6期		2								1	
	保健医療福祉制度論	1・2・3・4・5・6期		2								1	
	社会福祉学	1・2・3・4・5・6期		2								1	
	臨床心理学概論	1後	2									1	
	医療情報学概論	1・2・3・4・5・6期		2								1	
	福祉支援工学概論	1・2・3・4・5・6期		2								1	
	関連職種連携ワーク	3前	1		1							1	
	関連職種連携実習	5前		1								1	
	リスクマネジメント論	2・3・4・5・6期		2								1	
	電子カルテシステム入門	2後	1									1	
	ニヒジシバース・ドプラクティス（研究と文獻）（未開講）	1・2・3・4・5・6期		1		1						1	
	レクリエーション概論	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	医療関連法規Ⅰ（医薬品全般に関わる法律）	3前	1		1							1	
	医療関連法規Ⅱ（医薬品開発と薬害に関する法律の理解）	4前	1		1							1	
	災害保健学	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	予防保健学	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	国際医療保健学	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	異文化体験実習	1・2・3・4・5・6期		1								1	
	公衆衛生学Ⅰ（保健統計、疫学、制度）	2後	2		1							1	
	公衆衛生学Ⅱ（感染症と予防）	3後	1		1							1	
	薬学演習Ⅰ（物理・化学・生物：基礎）	2後	1		1							1	
	薬学演習Ⅱ（物理・化学・生物：応用）	3前	1		1							1	
	薬学演習Ⅲ（医療倫理、ヒューマニズム）	3後	1		1							1	
	病原微生物学	2後	2		1							1	
	コミュニケーション実習	2前	1		1		1		2	2		1	
	基礎薬学実習	1後	1		1		1		2	2		1	
	小計（32科目）	—		17	27	0	7	1	2	2	0	17	
	専 門 科 目	薬学概論	1前	2		1							1
		医薬品レギュラトリサイエンス概論	6前	1		1							1
		医療データサイエンス概論	4後	1			1						1
医療データサイエンス演習		6前	1			1			1			1	
早期体験実習		1後	1		1	1	2	2				1	
分析化学Ⅰ（化学平衡と滴定）		1後	2	1								1	
分析化学Ⅱ（機器分析）		2前	2	1								1	
分析化学Ⅲ（分離分析と臨床分析）		3前	2			1						1	
薬品物理化学Ⅰ（物性とエネルギー）		1後	2	1								1	
薬品物理化学Ⅱ（平衡と変化）		2前	2	1								1	
放射化学		2前	2									1	
日本薬局方Ⅰ（通則、総則、一般試験法）		3後	1	1								1	
日本薬局方Ⅱ（代表的な医薬品の試験と生産管理）		6前	1	1								1	
物理系薬学実習		2後	1	2			2					1	
有機化学Ⅰ（脂肪族化合物1）		1後	2	1								1	
有機化学Ⅱ（脂肪族化合物2）		2前	2	1								1	
有機化学Ⅲ（芳香族化合物）		2後	2	1								1	
生薬学		2前	2	1								1	
天然物化学		2後	1	1								1	
生物有機化学		3前	1	1								1	
医薬品構造化学Ⅰ（コア構造と作用機構）		4前	1	1								1	
医薬品構造化学Ⅱ（代表的医薬品の構造と作用）		6前	1	1								1	
医薬品構造解析演習		2後	1	1				1				1	
化学系薬学実習Ⅰ（有機合成）		2前	1	1				2				1	
化学系薬学実習Ⅱ（天然資源）		2後	1	1		1	2					1	
有機化学演習		1後		1		1		3				1	
免疫学		3前	2	1								1	
生化学Ⅰ（生体分子）		1後	2	1								1	
生化学Ⅱ（生体エネルギー・代謝）		2前	2	1								1	
分子生物学		2前	2	1								1	
細胞生物学		2後	1	1								1	
解剖生理学Ⅰ（外皮系、骨格系・筋内系、循環器系）		1後	2									1	
解剖生理学Ⅱ（神経系、内分泌系）		2前	2	1								1	
分子生物学実習		3前	1	1					2			1	
免疫微生物学実習		3後	1	1								1	
基礎統計学		1後	1				1					1	
疾病と病態生理学Ⅰ（内分泌系、神経精神系、循環器系疾患）	2前	2	2								1		
疾病と病態生理学Ⅱ（消化器系、呼吸器系、代謝性疾患）	2後	2	2								1		
薬理学Ⅰ（総論）	2前	1	1								1		
薬理学Ⅱ（末梢神経薬理、中枢神経薬理等）	2後	2	1								1		
薬理学Ⅲ（免疫・炎症薬理、循環器薬理、消化器薬理等）	3前	2	1								1		

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専 門 科 目	薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3後	1			1						1
	化学療法学	3前	2			1						
	がん薬物療法学	3後	2			1						
	ゲノム医療	3後	1			1						
	臨床検査医学	4前	2									
	OTC医薬品概論	3後	2			1						
	漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3後	2			1						
	漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4前		1		1						
	医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3後	2			1						
	医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4前	1				1					
	医薬品安全性学	4後	2			1						
	薬物治療学Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4後	2			1						
	薬物治療学Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4後	2			1						
	薬物治療学Ⅲ（症例・病態解析）	6前	1			1						
	フィジカルアセスメント実習	4前	1			1				2		
	生物系薬学実習	3後	1			1	1			2		
	物理薬理学	3前	1			1						
	製剤設計とDDS	3後	2			1						
	薬物動態学	4前	2			1						
	臨床薬物動態学	4後	2			1						
	薬剤学実習	3前	1			2		1	1			
	衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2後	2				1					
	衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3前	2				1					
	環境衛生学	3前	2				1					
	衛生系薬学実習	3前	1			1	1			1		
	臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3後	2			1						
	臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4前	2			1						
	臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4後	2				1					
	臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4後	1				1					
	医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4前	1			1	1	1	4			
	医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4前	1			1	1	1	4			
	医療系薬学実習Ⅲ（薬物療法の実践）	4後	1			1	1	1	4			
	薬局実務実習	5・6通	10			1	1	1	4			
	病院実務実習	5・6通	10			1	1	1	4			
	卒業研究	5・6通	8				15	3				
	実務実習事前演習	4前	2				9	3	4	8		
	総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6前	1				15	3	4			
	総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6後	1				15	3	4			
小計（79科目）	—		142	2	0	16	4	4	8	0	1	
合計(215科目)		—										
卒業要件及び履修方法												
卒業要件191単位以上 ①総合教育科目 必修22単位 （人間系4単位、社会系5単位、自然・情報系8単位、総合系1単位、外国語系4単位） ②専門基礎科目 必修17単位 ③専門科目 必修142単位 ④総合教育科目・専門教育科目 選択10単位以上												

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼任
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
			修 得	得	得	得	得	得	得	得		
専 門 科 目	薬理学Ⅳ（呼吸器薬理、内分泌薬理等）	3後	1			1						1
	化学療法学	3前	2			1						
	がん薬物療法学	3後	2			1						
	ゲノム医療	3後	1			1						
	臨床検査医学	4前	2									
	OTC医薬品概論	3後	2			1						
	漢方医学Ⅰ（漢方の基礎）	3後	2			1						
	漢方医学Ⅱ（漢方の応用）	4前		1		1						
	医薬品情報学Ⅰ（医薬品情報の収集と活用）	3後	2			1						
	医薬品情報学Ⅱ（EBMと臨床研究）	4前	1				1					
	医薬品安全性学	4後	2			1						
	薬物治療Ⅰ（神経精神系疾患、内分泌系疾患等）	4後	2			1						
	薬物治療Ⅱ（循環器系疾患、呼吸器系疾患等）	4後	2			1						
	薬物治療Ⅲ（症例・病態解析）	6前	1			1				2		
	フィジカルアセスメント実習	4前	1			1						
	生物系薬学実習	3後	1			1	1			1		
	物理薬理学	3前	1			1						
	製剤設計とDDS	3後	2			1						
	薬物動態学	4前	2			1						
	臨床薬物動態学	4後	2			1						
	薬剤学実習	3前	1			2		1	1			
	衛生化学Ⅰ（食品・栄養）	2後	2				1					
	衛生化学Ⅱ（毒性・代謝）	3前	2				1					
	環境衛生学	3前	2				1					
	衛生系薬学実習	3前	1			1	1			1		
	臨床薬学Ⅰ（調剤の基礎）	3後	2			1						
	臨床薬学Ⅱ（調剤の実践）	4前	2			1						
	臨床薬学Ⅲ（薬物療法の実践）	4後	2				1					
	臨床薬学Ⅳ（チーム医療・地域医療の実践その前に）	4後	1				1					
	医療系薬学実習Ⅰ（調剤の基礎と情報収集）	4前	1			1	1	1	4			
	医療系薬学実習Ⅱ（調剤の実践と服薬指導）	4前	1			1	1	1	4			
	医療系薬学実習Ⅲ（薬物療法の実践）	4後	1			1	1	1	4			
	薬局実務実習	5・6通	10			1	1	1	4			
	病院実務実習	5・6通	10			1	1	1	4			
	卒業研究	5・6通	8			15	3					
	実務実習事前演習	4前	2			9	3	4	7			
	総合薬学演習Ⅰ（薬剤師の使命を含む基礎項目の確認）	6前	1			15	3	4				
	総合薬学演習Ⅱ（理解力および問題解決能力の養成）	6後	1			15	3	4				
小計（79科目）	—	142	2	0	16	4	4	7	0	2		
合計(215科目)		—										
卒業要件及び履修方法												
卒業要件191単位以上 ①総合教育科目 必修22単位 （人間系4単位、社会系5単位、自然・情報系8単位、総合系1単位、外国語系4単位） ②専門基礎科目 必修17単位 ③専門科目 必修142単位 ④総合教育科目・専門教育科目 選択10単位以上												

- （注）
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任・兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ （2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
- （例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和6年度】（新）→【令和5年度】（新）→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】（旧）→【令和5年度】（旧）

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・教育効果を考慮し、「法と道徳・倫理」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「物理学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「化学」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「データリテラシー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・兼任教員の就任辞退により、「食と人間」は非開講。
- ・教育効果を考慮し、「英語講読1 (Primary)」「英語CALL1 (Primary)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、兼任・兼任2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語ライティング1 (Primary)」「英語ライティング2 (Basic)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「基礎英文法1 (Primary)」「基礎英文法2 (Basic)」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「基礎薬学実習」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教2」から「教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「早期体験実習」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教3」から「教授1、准教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「有機化学演習」の専任教員等の配置を「教授1、講師2」から「教授1、講師3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「解剖生理学Ⅰ (外皮系、骨格系・筋肉系、循環器系)」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。
- ・教員の着任辞退により、「分子生物学実習」の専任教員等の配置を「教授1、助教3」から「教授1、助教2」に変更。
- ・教員の着任辞退により、「免疫微生物学実習」の専任教員等の配置を「教授1、助教3」から「教授1、助教2」に変更。
- ・教員の着任辞退により、「生物系薬学実習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教2」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・教員の着任辞退により、「実務実習事前演習」の専任教員等の配置を「教授9、准教授3、講師4、助教8」から「教授9、准教授3、講師4、助教7」に変更。

【令和7年度】

--

【令和8年度】

--

【令和9年度】

--

【令和10年度】

--

【令和11年度】

--

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (令和5年度開設であれば令和4年度以前) の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
106 科目	109 科目	0 科目	215 科目	106 科目 [0]	109 科目 [0]	0 科目 [0]	215 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	食と人間	1	1・2・3・4・5・6	一般	選択	兼任教員の就任辞退し、代替教員の確保ができなかったため
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講とした科目は、総合教育科目（一般教養科目）の選択科目であり、進級条件や卒業要件への影響はない。しかしながら、当該科目を学びたいと考える学生の興味関心に応えるためにも、次年度以降は開講できるよう、講師採用の検討を継続したい。非開講となったことについて、学生に対しては、履修登録期間開始前のオリエンテーション時から確認できる資料を電子掲示にて配信の上、いつでも閲覧可能な状況としている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{1}{215} = \boxed{0.46} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校 舎 敷 地	268, 532㎡	㎡	㎡	268, 532㎡				
	運動場用地	100, 751㎡	㎡	㎡	100, 751㎡				
	小 計	369, 283㎡	㎡	㎡	369, 283㎡				
	そ の 他	113, 975㎡	㎡	㎡	113, 975㎡				
	合 計	483, 258㎡	㎡	㎡	483, 258㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		222, 076㎡	㎡	㎡	222, 076㎡				
		213, 779㎡	(㎡)	(㎡)	213, 779㎡				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		209室	189室	363室	23室 (補助職員 8人)	9室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		大学全体		
		成田薬学部			33 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため, 大学全体の数
	成田薬学部	271, 434 [34, 034] (266, 019 [33, 358])	20, 288 [15, 476] (20, 231 [15, 466])	16, 347 [14, 736] (16, 334 [14, 727])	7, 478 (7, 450)	134, 142 (132, 409)	2, 709 (2, 209)		
	計	271, 434 [34, 034] (266, 019 [33, 358])	20, 288 [15, 476] (20, 231 [15, 466])	16, 347 [14, 736] (16, 334 [14, 727])	7, 478 (7, 450)	134, 142 (132, 409)	2, 709 (2, 209)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		8, 081㎡		1, 691席		354, 777冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		7, 465㎡		弓道場		テニスコート			
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	成田薬学部全体
		教員 1 人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	19, 400千円	3, 000千円	3, 000千円	
		共 同 研 究 費 等	15, 000千円	20, 000千円	設備購入費	150, 000千円	20, 000千円	35, 000千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1, 750千円	1, 630千円	1, 630千円	1, 630千円	1, 630千円	1, 630千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、資産運用収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		国際医療福祉大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考				
	年	人	年次A	人		倍	倍	年度	年度						
保健医療学部	4	535	－	2140	－	1.02	－	－	平成7年度	栃木県大田原市北金丸2600番1					
看護学科	4	115	－	460	学士(看護学)	1.01	－	－	平成7年度						
理学療法学科	4	100	－	400	学士(理学療法)	1.03	－	－	平成7年度		同上				
作業療法学科	4	80	－	320	学士(作業療法)	1.04	－	－	平成7年度		同上				
言語聴覚学科	4	80	－	320	学士(言語聴覚)	1	－	－	平成7年度		同上				
視機能療法学科	4	50	－	200	学士(視機能療法)	0.99	－	－	平成14年度		同上				
放射線・情報科学科	4	110	－	440	学士(放射線・情報科学)	1.05	－	－	平成7年度		同上				
医療福祉学部	4	140	5	570	－	0.92	－	－	平成9年度						
医療福祉・マネジメント学科	4	140	5	570	学士(医療福祉) 学士(医療マネジメント)	0.92	－	－	平成9年度		同上				
薬学部	6	180	－	1,080	－	0.97	－	－	平成18年度						
薬学科	6	180	－	1,080	学士(薬学)	0.97	－	－	平成18年度	同上					
小田原保健医療学部	4	200	－	800	－	1.06	－	－	平成18年度	神奈川県小田原市城山一丁目2番25号					
看護学科	4	80	－	320	学士(看護学)	1.04	－	－	平成18年度						
理学療法学科	4	80	－	320	学士(理学療法)	1.07	－	－	平成18年度		同上				
作業療法学科	4	40	－	160	学士(作業療法)	1.07	－	－	平成18年度		同上				
福岡保健医療学部	4	220	－	800	－	1.02	－	－	平成17年度						
看護学科	4	60	－	120	学士(看護学)	1.03	－	－	令和5年度	福岡県大川市榎津137-1					
理学療法学科	4	50	－	220	学士(理学療法)	1.05	－	－	平成17年度	同上	令和5年度より入学定員変更（60→50）				
作業療法学科	4	30	－	140	学士(作業療法)	0.89	－	－	平成17年度	同上	令和5年度より入学定員変更（40→30）				
言語聴覚学科	4	－	－	－	学士(言語聴覚)	－	－	－	平成19年度	同上	令和5年度入学生より学生募集停止（40→0）				
医学検査学科	4	80	－	320	学士(医学検査)	1.06	－	－	平成25年度	同上					
福岡薬学部	6	120	－	600	－	1.00	－	－	令和2年度	同上					
薬学科	6	120	－	600	学士(薬学)	1.00	－	－	令和2年度		同上				
成田看護学部	4	100	－	400	－	1.04	－	－	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4丁目3番					
看護学科	4	100	－	400	学士(看護学)	1.04	－	－	平成28年度						
成田保健医療学部	4	290	－	1,160	－	1.05	－	－	平成28年度	同上					
理学療法学科	4	80	－	320	学士(理学療法)	1.06	－	－	平成28年度		同上				
作業療法学科	4	40	－	160	学士(作業療法)	1.06	－	－	平成28年度	同上					
言語聴覚学科	4	40	－	160	学士(言語聴覚)	1.04	－	－	平成28年度	同上					
放射線・情報科学科	4	50	－	200	学士(放射線・情報科学)	1.04	－	－	令和2年度	同上					
医学検査学科	4	80	－	320	学士(医学検査)	1.06	－	－	平成28年度	同上					
医学部	6	140	－	840	－	0.99	－	－	平成29年度	同上					
医学科	6	140	－	840	学士(医学)	0.99	－	－	平成29年度		同上				
成田薬学部	6	120	－	120	－	1.00	－	－	令和6年度	同上					
薬学科	6	120	－	120	学士(薬学)	1.00	－	－	令和6年度		同上				
赤坂心理・医療福祉マネジメント学部	4	120	－	480	－	0.96	－	－	平成30年度	東京都港区赤坂4丁目1-26					
心理学科	4	60	－	240	学士(心理)	1.04	－	－	平成30年度						
医療マネジメント学科	4	60	－	240	学士(医療マネジメント)	0.87	－	－	平成30年度		同上				
大学全体	－	2,165	5	8,990	－	－	－	－	－	－					

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
- なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
- 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
- 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<成田薬学部 薬学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「早期体験実習」の薬局施設数 ・ 成田薬剤師会9施設 進級条件について (1) 1学年から2学年への進級条件 1学年の必修科目 (34単位) のうち、すべての実習単位 (2単位) を含む34単位以上を修得していること。 (2) 2学年から3学年への進級条件 ① 1学年の必修科目 (34単位) のすべてを修得していること。 ② 2学年の必修科目 (45単位) のうち、すべての実習単位 (5単位) を含む45単位以上を修得していること。 ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。 (3) 3学年から4学年への進級条件 ① 2学年の必修科目 (79単位) のすべてを修得していること。 ② 3学年の必修科目 (39単位) のうち、すべての実習科目 (5単位) を含む39単位以上を修得していること。 ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。	「早期体験実習」における薬局の実習施設について、当初予定していた9施設以外に、近隣の印旛郡薬剤師会等とも連携し、受入れ調剤薬局を全体で30施設程度に増やす予定。これにより、学生の利便性向上とともに、学生に対してよりきめ細かな指導が可能となる。 (1) 1学年から2学年への進級条件 1学年の必修科目 (34単位) のうち、すべての実習単位 (2単位) を含む<u>28単位以上</u>を修得していること。 (2) 2学年から3学年への進級条件 ① 1学年の必修科目 (34単位) のすべてを修得していること。 ② 2学年の必修科目 (45単位) のうち、すべての実習単位 (5単位) を含む<u>39単位以上</u>を修得していること。 ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。 (3) 3学年から4学年への進級条件 ① 2学年の必修科目 (79単位) のすべてを修得していること。 ② 3学年の必修科目 (39単位) のうち、すべての実習科目 (5単位) を含む<u>33単位以上</u>を修得していること。 ③ 以上、①②の両方の条件を満たしていること。 各学年の進級条件について、既設の薬学部（薬学部、福岡薬学部）と同様に設定することとした。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学則に基づき大学としてFD委員会を置き、成田キャンパスには「成田キャンパスFD委員会」を設置している。
（別紙1「国際医療福祉大学FD委員会規程」）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

成田キャンパスでは、成田看護学部、成田保健医療学部、医学部の3学部合同で成田キャンパスのFD委員会を概ね月1回開催してきたが、令和6年度からは成田薬学部薬学科も参画し、1名の委員が参加している。

c 委員会の審議事項等

成田キャンパスFD委員会は、FD研修会の開催などによる教員の資質向上、授業アンケートの実施の審議および学科毎に行われているFD活動の情報共有などを行う。

② 実施状況

a 実施内容

- ①大学全体でのFD研修会
- ②成田キャンパスにおけるFD研修会

b 実施方法

- ①大学全体でのFD研修会
年に数回、担当キャンパスによる研修会を開催。
- ②成田キャンパスにおけるFD研修会（年1回）
年1回の開催に向け、FD委員会にて企画運営。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ①大学全体でのFD研修会
令和6年度は以下のテーマで計2回、キャンパス横断的な研修会を開催を予定している。
令和6年9月：大学生の非認知能力の育成（仮）
令和7年3月：FD活動報告/学生が選ぶグッドティーチング賞受賞者報告会
- ②成田キャンパスにおけるFD研修会（年1回）
令和5年3月に「関連職種連携ワークにおける学生指導」「Google Classroomの活用方法」という2テーマで成田キャンパスFD研修会を開催した。令和6年度のテーマについては現在検討中であるが、令和7年3月に開催予定。なお、SDとしては、職員の採用時や半年後に新入職員の研修を行っているほか、役職への昇格時に事務管理やコンプライアンスなどをテーマに研修を実施している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施後にアンケート等から各教員へフィードバックを実施した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

大学全体の方針として、半期の場合は15回目、半期の半分の場合は8回目に授業アンケートを実施。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員へは集計結果をフィードバック。学生へはホームページ、学内システム上などで集計結果を公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は、開学以来、病気や障害を持つ人も健常な人もお互いを認めあう「共に生きる社会」の実現を大学の理念に掲げ、また21世紀の健康、医療、福祉を担うことができ、広い視野と国際性を身につけた人材の育成を教育目標としている。この理念・目標を基盤に、実践的な専門職教育に全学で取り組んでおり、職能に直結する実習教育を重視し、さらに医療福祉の総合大学であること、関連医療施設及び福祉施設を有していることから「多様な場や人をつなぎ活躍できる医療人の養成」を目指し、少人数制での細やかな教育を実践してきている。

このような本学の特色を活かしつつ、既設の薬学部（薬学部、福岡薬学部）においては、薬学の基礎から臨床応用までの講義、実習・演習を有機的に構成したカリキュラムによる教育に加え、本学の医療福祉系学部との共通カリキュラムや本学の関連医療施設及び福祉施設における臨床実習により、対人援助職としての医療人教育を行っている。

成田薬学部については、さらに ①国際性 ②シミュレーションセンター及び他職種連携教育 ③病院隣接立地を活かした教育 を特色として、医療人としてチーム医療に貢献できる人間性、社会性、国際性豊かな薬剤師を養成する全人教育を行うことを目指している。

開設初年度となる令和6年度は、入学定員120名に対し志願者数は1,036名となり、本学科への期待の高さを証明するとともに、優秀な人材を確保できる結果となった。千葉県のみならず、海外からの留学生1名を含め全国各地から121名の学生を迎えることができた。本学の基本理念や人材育成方針、教育目標が評価された成果であると考えている。次年度以降も、引き続き学生確保への努力を継続していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和7年（2025年）4月予定

b 公表方法

大学ホームページに掲載のほか、関係する自治体・図書館・他大学などに報告書を配布し本学への外部からの意見の収集に努める。

③ 認証評価を受ける計画

・ 令和10年度（2028年度）に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。